

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日  
東

上場会社名 アース製薬株式会社 上場取引所  
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (兼) (氏名) 川端 克宜  
 グループ各社取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 三塚 剛 (TEL) 03-5207-7458  
 グループ経営統括本部 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	115,821	4.7	18,566	15.9	18,907	17.2	12,759	16.5
2020年12月期第2四半期	110,634	6.3	16,024	116.5	16,138	114.1	10,949	135.4

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 12,460百万円(△7.1%) 2020年12月期第2四半期 13,417百万円(192.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	578.41	—
2020年12月期第2四半期	540.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	136,320	69,634	47.8
2020年12月期	119,870	59,823	46.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 65,099百万円 2020年12月期 55,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	115.00	115.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	201,500	2.8	12,000	5.1	12,400	6.3	7,700	117.1	348.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	22,077,500株	2020年12月期	22,057,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	6,815株	2020年12月期	5,065株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	22,059,386株	2020年12月期2Q	20,240,144株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、ワクチン接種数の拡大や各種政策への今後の効果が期待されるものの、一部の地域においては断続的に緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用され、先行きについては極めて不透明な状況となっております。また、当社グループが展開に注力するアジア地域は、早期に感染を抑止した中国では経済活動の再開による景気回復が続いているものの、各国において感染症拡大の波が断続的に訪れている状況に変わりはない、依然として注視が必要な状況が続いております。

このような経済状況のなか、経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと、2021年2月に、「モノサシ・インフラの刷新」、「アジア収益基盤の拡大」、「ESG・オープンイノベーション」、「コストシナジーの創出」を基本方針とする中期経営計画「Act For SMILE-COMPASS 2023-」を公表いたしました。当連結会計年度は中期経営計画の初年度として、これらの重点施策の遂行に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、家庭用品事業において、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う生活様式の変容を背景とした高いお客様需要の継続や新製品の投入があったことに加え、総合環境衛生事業において、契約数の拡大による売上高の伸長があり、売上高は1,158億21百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益185億66百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益189億7百万円(前年同期比17.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益127億59百万円(前年同期比16.5%増)となり、第2四半期連結累計期間における過去最高の業績を更新しました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

## 〔家庭用品事業〕

家庭用品事業におきましては、新製品投入による新規ユーザーの開拓、既存製品のリニューアルによる製品価値の向上とともに、広告宣伝や魅力ある売場づくりなど、お客様とのコミュニケーション施策を通じて、市場の活性化に努めました。また、製造コストや販売にかかるコストの低減を図り、収益性の改善に努めました。

当第2四半期連結累計期間における当事業の業績については、今春発売した虫ケア用品の新製品が好調に伸長したことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けたお客様需要の変化に伴い市場規模が拡大した入浴剤の売上寄与などにより、売上高は1,092億24百万円(前年同期比6.4%増)となりました。利益面では、増収及び売上構成比の変化に伴う原価率の改善により売上総利益が増加したことに加え、マーケティング費用を計画の範囲内で効率的に運用したことで、セグメント利益(営業利益)は178億70百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

## (家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	48,937	51,569	2,632	5.4%
日用品部門	49,002	52,587	3,584	7.3%
口腔衛生用品	20,852	21,549	697	3.3%
入浴剤	10,305	13,124	2,819	27.4%
その他日用品	17,844	17,913	68	0.4%
ペット用品・その他部門	4,729	5,067	338	7.1%
売上高合計	102,668	109,224	6,555	6.4%
セグメント利益(営業利益)	15,144	17,870	2,725	18.0%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では5,048百万円、当第2四半期連結累計期間では6,880百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

#### 虫ケア用品部門

国内においては、コロナ禍における換気の推奨や在宅時間の増加などの生活様式の変容が継続し、『アース虫よけネットEX』や『コバエがホイホイ』などの販売が伸長したことに加え、『おすだけアースレッド無煙プッシュ』など新製品の寄与もあり売上を伸ばしました。また、海外においては、タイを中心に好調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は515億69百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

#### 日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液『モンダミン プレミアムケア センシティブ』の売上寄与に加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き好調に推移したことで、売上高は215億49百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

入浴剤分野においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けたお客様需要の変化に伴い市場規模が拡大し、粒剤タイプの『きき湯』、分包タイプの『日本の名湯』・『いい湯旅立ち』などが引き続き好調に推移し、売上高は131億24百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

その他日用品分野においては、マスク『快適ガード』の前年における年間を通じた短期的な需要拡大に対する一時的な反動がありましたが、巣ごもり需要の拡大を受け、掃除用品『らくハピ』シリーズなどが売上を伸ばし、売上高は179億13百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は525億87百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

#### ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、既存製品のリニューアルや積極的な販売促進施策によりタオル・クリーナーなどのペットケア用品が引き続き売上を伸ばし、当部門の売上高は50億67百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

#### [総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、消費者の「安全・安心」に対する意識の高まりや、労働力人口の減少等により工場での労働者確保が困難であることを背景に、衛生管理へのアウトソーシングニーズが増しており、当社の主要な顧客層である食品関連工場や包材関連工場において、当社グループが提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の採用・育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェアの開発など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制構築に向けた投資を積極化するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大を図りました。その中でも、医薬品業界・再生医療業界への取り組み、食品安全マネジメントに関する監査・コンサルタント業務への取り組みを強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は135億46百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益(営業利益)は8億98百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

#### (総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	13,075	13,546	471	3.6%
セグメント利益(営業利益)	844	898	54	6.5%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では61百万円、当第2四半期連結累計期間では68百万円です。

## (2) 財政状態に関する説明

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて164億50百万円増加し、1,363億20百万円となりました。これは主に、売上債権及び投資有価証券の増加によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて66億40百万円増加し、666億86百万円となりました。これは主に、未払金が減少したものの、仕入債務、未払法人税等が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて98億10百万円増加し、696億34百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.7ポイント増加し、47.8%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して4億38百万円増加し、241億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は67億29百万円(前年同期は155億56百万円の増加)となりました。この主な内容は、税金等調整前四半期純利益188億95百万円(同 160億74百万円)、売上債権の増加139億26百万円(同 149億6百万円の増加)、たな卸資産の増加39億87百万円(同 14億6百万円の減少)であります。

投資活動の結果、減少した資金は23億8百万円(前年同期は13億13百万円の減少)となりました。この主な内容は、有形固定資産の取得による支出19億80百万円(同 12億10百万円)であります。

財務活動の結果、減少した資金は41億75百万円(前年同期は127億12百万円の減少)となりました。この主な内容は、配当金の支払額25億36百万円(同 20億23百万円)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月28日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,716	24,154
受取手形及び売掛金	22,746	36,693
商品及び製品	17,403	21,399
仕掛品	789	641
原材料及び貯蔵品	3,986	4,245
その他	2,124	2,292
貸倒引当金	△20	△36
流動資産合計	70,747	89,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,002	29,665
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,982	△15,537
建物及び構築物(純額)	14,019	14,128
機械装置及び運搬具	15,598	15,874
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,357	△11,833
機械装置及び運搬具(純額)	4,240	4,041
土地	7,875	7,875
リース資産	115	154
減価償却累計額及び減損損失累計額	△58	△61
リース資産(純額)	56	93
建設仮勘定	389	235
その他	8,616	8,985
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,166	△7,417
その他(純額)	1,449	1,567
有形固定資産合計	28,030	27,940
無形固定資産		
のれん	2,260	1,306
その他	4,008	3,951
無形固定資産合計	6,268	5,257
投資その他の資産		
投資有価証券	8,001	6,682
退職給付に係る資産	4,343	4,499
繰延税金資産	1,152	944
その他	1,333	1,612
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	14,823	13,731
固定資産合計	49,122	46,929
資産合計	119,870	136,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,714	39,852
短期借入金	1,756	1,137
1年内返済予定の長期借入金	1,314	1,086
未払金	10,017	6,341
未払法人税等	3,640	5,751
未払消費税等	1,684	1,472
賞与引当金	312	316
返品調整引当金	595	1,159
その他	3,848	5,316
流動負債合計	54,884	62,434
固定負債		
長期借入金	2,218	1,690
繰延税金負債	1,329	1,105
退職給付に係る負債	454	416
資産除去債務	505	516
その他	652	523
固定負債合計	5,161	4,252
負債合計	60,046	66,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,829	9,895
資本剰余金	9,859	9,928
利益剰余金	33,322	43,545
自己株式	△17	△17
株主資本合計	52,994	63,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,723	1,793
為替換算調整勘定	△789	△350
退職給付に係る調整累計額	371	304
その他の包括利益累計額合計	2,304	1,747
非支配株主持分	4,524	4,534
純資産合計	59,823	69,634
負債純資産合計	119,870	136,320



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	110,634	115,821
売上原価	62,856	64,218
売上総利益	47,777	51,603
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,179	3,375
広告宣伝費	4,133	4,201
販売促進費	6,981	7,161
貸倒引当金繰入額	17	17
給料及び手当	7,574	8,016
賞与引当金繰入額	213	228
旅費及び交通費	541	506
減価償却費	552	619
のれん償却額	1,230	954
地代家賃	670	707
研究開発費	1,200	1,346
その他	5,456	5,900
販売費及び一般管理費合計	31,753	33,036
営業利益	16,024	18,566
営業外収益		
受取利息	22	30
受取配当金	61	103
為替差益	—	68
受取手数料	15	14
受取家賃	43	23
その他	83	145
営業外収益合計	227	385
営業外費用		
支払利息	34	10
為替差損	42	—
損害賠償金	—	27
その他	36	6
営業外費用合計	113	45
経常利益	16,138	18,907
特別利益		
固定資産売却益	7	1
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産売却損	9	6
固定資産除却損	16	5
投資有価証券評価損	45	1
特別損失合計	71	13
税金等調整前四半期純利益	16,074	18,895
法人税、住民税及び事業税	5,374	5,486
法人税等調整額	△451	399
法人税等合計	4,923	5,885
四半期純利益	11,151	13,009
非支配株主に帰属する四半期純利益	201	250
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,949	12,759

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	11,151	13,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,497	△920
為替換算調整勘定	△193	439
退職給付に係る調整額	△38	△68
その他の包括利益合計	2,266	△549
四半期包括利益	13,417	12,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,224	12,202
非支配株主に係る四半期包括利益	192	258

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,074	18,895
減価償却費	1,595	1,687
のれん償却額	1,230	954
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,016	563
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△210	△298
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,906	△13,926
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,406	△3,987
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,583	8,099
その他	2,318	△2,046
小計	17,109	9,940
利息及び配当金の受取額	84	134
利息の支払額	△34	△10
法人税等の支払額	△1,602	△3,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,556	6,729
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,210	△1,980
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
その他の支出	△306	△345
その他の収入	212	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313	△2,308
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△8,868	△619
長期借入金の返済による支出	△1,641	△757
自己株式の取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	—	△86
配当金の支払額	△2,023	△2,536
非支配株主への配当金の支払額	△158	△158
その他	△20	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,712	△4,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,462	438
現金及び現金同等物の期首残高	7,312	23,716
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,774	24,154

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。